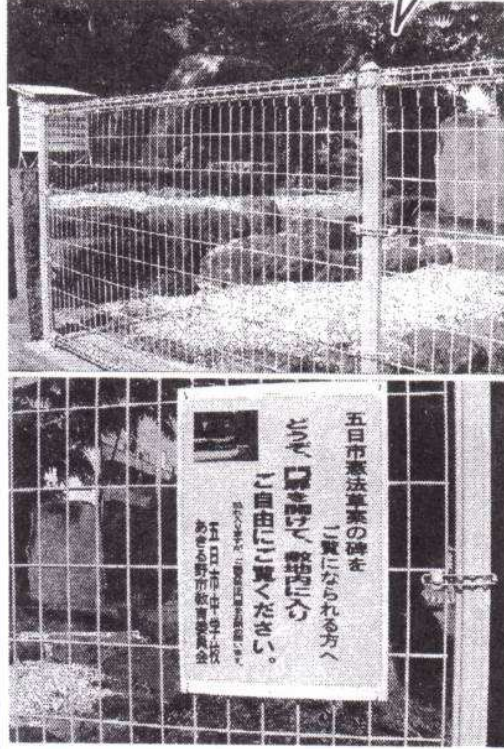


こんなことでいいのでしょうか

2年程まえから 柵で囲われ、 見学できない

誇り郷土の 五日市憲法草案記念碑



◆上の写真が2年程前から柵で閉ざされた記念碑。
◆鈴木さんが市長と教育委員長に手紙を出してから、表示された案内版。「ご自由にご覧ください」の表示にもかかわらず、鍵がかかっているのか開きませんでした。

「五日市憲法草案を学びたい」、「五日市憲法草案が発見された深沢家跡や土蔵を見学したい」ということで五日市を訪ねる人はかなり多くおられます。私も、案内を頼まれることがあります。案内の際、深沢家跡や土蔵などとともに「五日市憲法草案記念碑は、かならずよる大事な見学の場所です。ところがこの記念碑は、二年ほど前から柵で閉ざされてしまつて学校の門扉が閉鎖されている土・日などは見学できません。この五日市憲法草案記念碑は、仙台の有志の方たちからの呼びかけで、五日市憲法草案が発見されて十一年後の一九七

九年に、当時の五日市町、起草者の千葉卓三郎の生誕の地・志波姫町(いま栗原市)と卓三郎が眠る仙台市北山の資福寺の三ヶ所に設置されたものです。この記念碑が設置されてすでに四半世紀の時がながれました。

気になって、志波姫町と仙台市を訪ねた

私は、昨春秋、志波姫町(当時)と仙台市・北山の資福寺を訪ねてみました。

志波姫町と資福寺の「五日市憲法草案記念碑」は、四半世紀たった今も大切に扱われていることがよくわかりました。千葉卓三郎の生

家があった地は、五日市町議会(当時)が友好姉妹都市の交流で訪れた頃は荒地でした。今回訪れてみるとこの生誕の地が、小公園として整備され、卓三郎が謙謙的に自称した「ジャパネス国法学大博士・タクロン・チパー」を表題に卓三郎の略歴や「五日市憲法草案」の起草にいたる経緯などが解説されておりました。ちなみにこの整備に要した経費は約一千万円ときました。当時の志波姫町にとつて少なからず予算を投じて先覚者の偉業を後世に伝える努力をしていることに感動しました。私は、この志波姫、仙台行の際、千葉卓三郎が

信徒として出入りをした金成正教会や布教のかどで投獄された登米の監獄跡地もおとずれてみました。

五日市憲法草案は、明治憲法成立史研究の大家、稲田正次先生やアメリカ、アイオワ大学のステイヴン・グラフトフ教授らをはじめ多くの研究者から高い評価をうけています。起草者の千葉卓三郎、卓三郎を援助した深沢名生(なおまる)、権八親子や五日市学芸講談会などの先覚者のためにも、また記念碑を設置した当時の関係者にたいする最低限の礼としても「五日市憲法草案記念碑」をだれもがいつでも見学できるようにしておくべきです。

と、強く思つて、市長と教育委員長に手紙

出張所敷地内などへ移転をふくめて「五日市憲法草案記念碑」がいつでも見学できるようにしてほしい旨の手紙を出しました。教育委員長からは、私の留守中でしたが、電話にての回答をいただきました。市長からは手紙にて返事をいただきました。

ただ、市長からの返事では、「案内板の設置」は明言されていますが、柵については「改善に努めていきたい」ということで、柵

を付け替えるとか、移転するとかは、明言されておりませんが、これが案内板かと思われ、門扉を開けて敷地内に入り、「自由にご覧ください」と書かれていたが、門扉には鍵がかかっているのか開けることができませんでした。あの柵は、あきる野市が「五日市憲法草案」を今のように評価しているかを見学者に事実をもって示すものとなっています。「案内板だけでお茶をにごすようなことはしてほしくないと思います。」

(元日本共産党あきる野市議会議員 鈴木富雄)



「あきる野民報」を地域の新聞に一新!

あきる野民報の名称も含めてみなさんのご意見をお待ちしていましたが、議論百出。有力なところでは「きらりーあきる野」、「Action—活動」「Current—潮流」などが寄せられています。まだまだ間に合います。

みなさんからの新新で親しみのもてる題名の応募を編集者一同心待ちにしています。

<FAX 558-0718 松平まで>

あきる野民報

2005年9月11日/発行
日本共産党あきる野市委員会
発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

野良望

「憲法を奪って戦争へ行こう」

八月四日付朝刊のページに大きな文字。目に飛び込んだ。もうこんな事態になつてしまったのかと、胸がどきつ。実は、「憲法を奪って戦争へ行こう」という世の中にしないための18人の発言」という岩波ブックレットの広告▼読んで、吉永小百合さんや井上ひさしさんらの憲法への熱い思いが伝わる▼その二日前に報じられた自民党の「新憲法草案」。現憲法の平和の柱である「戦争の放棄」「戦力不保持」「交戦権の否認」をすべて放棄し、「戦争する憲法」になる。さらに戦争協力を国民に強制する文言まで▼これこそ「憲法を変えて戦争へ行こう」のよびかけだ。まだまだ多くの人は「改憲」と言っても自衛隊の存在を憲法に書き込むだけと思われている。学び知らせて「ノー」の声を広げたい。

(渡)

原水爆禁止2005年世界大会に、参加！感動！

あきる野市から代表6人は初めて



あきる野原水協理事・矢澤則子



宮本照代

被爆六〇年目の「原水爆禁止世界大会長崎」へみんな折った千羽鶴をかかえ、皆様からのカンパで行ってまいりました。

路面電車が走り眼鏡橋、オランダ坂、ワシワシと蝉のなく長崎の町は世界大会参加のバッチをつけた人でいっぱいでした。

世界二十九国から言語の違う人々が一同に集まり核廃絶にむけてあつく連帯しているのに感動しました。と同時に唯一の被爆国であるわが国が国を上げて核廃絶の先頭に立たねばならないのではないかと恥ずかしい気持ちになりました。

初参加のどくに若い人たちも異口同音に「核廃絶」で私のできることはなんなの

広島へ、世界大会に一度は参加したいと思っていて思い切つて名乗りを上げ送りだしていただきました。六〇年ということで広島は平和の願いを込めた催しが各地で行なわれていました。

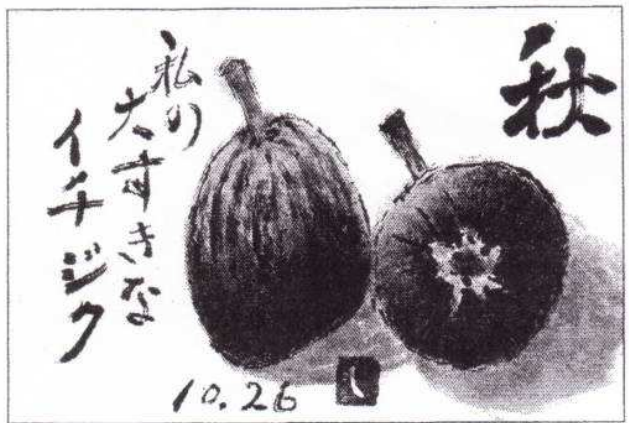
分科会では多くの被爆者や核被害者の訴え、お話を聞きました。ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ、ノーモアヒバクシャの声が今も耳に残っています。全体会は県立体育館アリーナに九千人もが集まり、海外から二十九国、二六四人もの人々が参加した、本当の世界大会でした。ファイナルは峠三吉の「人間をかえせ」を全員で合唱して終わりました。

十一日三時からルビアで代表派遣者全員が発言する報告会を行います。ぜひご参加ください。

がんばね やんじ・ぱぱ&ママ

私は野辺で3児の母をしています。たまに「楽しんで子育てをする、いいお母さん」と言われますが、外面だけ。実際は寝坊するのに昼寝もする、叱るつもりが怒る・どなる、のダメ母。楽しくないわけではないけれど「いつもニコニコ」はとてもむり。

「いいお母さん」には憧れますが、やってみても長続きしない上に、無理しているのでリバウンドします。子どもと付き合いつつは7年弱、何度も「がんばっちゃってリバウンド」をくり返し、今は子どもたちに「大好きよ」というきもちさえ伝えられたらダメ母でもいいやと思う毎日です。 あずみ



瀬戸岡の神崎茂子さんから絵手紙の投稿をいただきました。もう秋ですね…。

俳句
「ハリ鳥三句」
おとこ
肌黒き漢の祈り月のケチャ
レリーフに釈迦の生誕塔の秋
三毛作早稲刈る段々畑かな
(香)

歴史探訪 第3回 慈勝寺・なんじゃもんじゃの木(草花)

市内草花の「いなげや新草花店」の周辺を西ヶ谷戸と呼びます。それに対して日常聞き慣れない字名として、東ヶ谷戸があります。丁度、山根とみえ議員宅の周辺を云いますが、その山根宅から二〇メートル北側に福寿山慈勝寺があります。臨済宗建長寺派ですから、前号掲載した光厳寺と同宗派といえます。一一八八年(文治四年)に畠山重忠が、西ヶ谷戸で草庵住まいをしていた伯母の円寿院のために、東ヶ谷戸に移して創建したのが始まりとされています。

清楚な竹まいの寺庭が本堂前に広がり、その本堂の裏手に一本の大木が聳えています。山門から見ると、半円形の枝ぶりが本堂の屋根の上を覆っています。天然記念物として市指定文化財となつてこのタブノキは、別称イヌグスとも呼ばれます。慈勝寺のタブノキは高さ三三メートル、地面から一二〇センチの所で太さ四・八メートルあり、真下に立つて見上げると天を突き刺すその高さに驚かされます。

この地域で「なんじゃもんじゃ」と呼ばれています。これは関東特有の呼び方です。周辺で見られない程の大木をさして、あまりの大きさに驚き「これは一体なんじゃ」といった意味がてんじてよぶようになったとかがえられます。

慈勝寺の西側にある丘陵の山道に入ると、草花神社→大澄山→ゴルフ場の脇を通り、更に羽村へ抜ける草花丘陵ハイキングコースとなつて、好天の日には散歩が楽しめます。

草花・木寄秀治

